

絵画は何を語るのか

——保存修復と作品調査の現場から

〔講 師〕 京都大学大学院 人間・環境学研究科 准教授

田口 かおり氏



専門は保存修復学、美術史、表象文化論など。近現代美術の保存修復および調査研究に従事し、作品の物質性と経年変化、修復介入の倫理、真正性をめぐる問題に関心をもつ。科学分析やアーカイヴ調査を通して、作品の制作過程と後史を読み解く研究を進めている。主な著書に『保存修復の技法と思想—古代芸術・ルネサンス絵画から現代アートまで』『絵画をみる、絵画をなおす 保存修復の世界』、監訳書に『どうやって美術品を守る?』、監修展に『のこす つなぐ よみがえる 小田原市民会館大ホール壁画の記憶』『再考《少女と白鳥》—贋作を持つ美術館で贋作について考える』など。

美術作品にはたくさんの情報が詰まっています。

表面の絵具層を超えてその奥へと目を凝らすとき、私たちは一枚の絵画からどのような物語を読みとることができるのでしょうか。

本講演では、真贋の判断をめぐる近年大きな注目を集めた《少女と白鳥》(高知県立美術館所蔵)の調査事例を振り返りつつ、来歴調査や科学分析によって明らかになる作品の履歴をたどりながら、絵画に刻まれた情報を紐解き、その声に耳を傾ける保存修復の仕事についてお話しします。

〔日 時〕 9月6日(日)

14:00-15:30 (開場13:30)

〔会 場〕 富山県美術館 3階 ホール

〔定 員〕 50名

申込不要・聴講無料

◎臨時保育室を開設します。

保育対象年齢:月齢6か月~未就学のお子さま

保育時間:9月6日(日)13:30~15:45

対象:TADアート・レクチャーに参加される方

定員:6名(先着順) 費用:無料

申込方法:申込フォーム、または電話(076-431-2711)

※申込フォームは、当館ウェブサイト、本イベントページに掲載いたします。

申込締切日:2026年8月20日(金)

※申し込みは先着順に受け付けます。定員に達し次第、申込締切日以前でも受付を終了します。

※臨時保育室を利用される方に、8月24日(月)までにメールでご連絡いたします。

○ヒアリンググループをご利用いただけます。ご利用を希望される方は事前にご連絡ください。

※ヒアリンググループとは…補聴器などに内蔵されている磁気誘導コイルを使って聴覚を支援する設備です。補聴器をお持ちでない方には、専用の受信機をお貸しいたします。

○音声認識アプリを使用した、講演内容の字幕表示を行います。

○コレクション展・企画展の展示室に入室の場合は観覧券が必要です。

○会場での飲食、講演会の録音・撮影などはできません。

○内容等、都合により変更する場合があります。詳細は当館ホームページ等でご確認ください。



〔アクセス〕

- 富山駅北口から 徒歩 約15分/タクシー 約3分
バス 1番のりばより乗車「富山県美術館」下車すぐ
- 富山空港から タクシー・車 約20分(約9 km)
- 北陸自動車道から 富山J.C.から国道41号経由 約15分

〔駐車場〕

最初の1時間330円。以降30分毎に110円加算。美術館利用の方は2時間無料(事前精算機をご利用ください)

※美術館の駐車場(8:00-22:30)は限りがあり、土日祝は混雑が予想されます。お越しの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。満車の際は、環水公園立体駐車場など周辺駐車場をご利用ください。